

北消防署出張所の基本プラン

1 各部の基本プラン

(1) 消防庁舎

室名		面積 (㎡)	所要機能
1階	事務室 (受付・作戦室)	80	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者対応カウンターを設ける。 指令端末装置及びPC等の配線に配慮する。 21人分の小ロッカーを設ける。
	車庫	250	<ul style="list-style-type: none"> タンク車 45㎡×1台=45㎡ 救急自動車 37㎡×2台=74㎡ (1台は非常用) 燃料補給車 37㎡×1台=37㎡ 水上バイクトレーラー 37㎡×1台=37㎡ 業務連絡車 20㎡×1台=20㎡ 上記車両以外に十分なスペースを設ける。 オーバースライダーシャッターを設ける。 車両整備用ピットを設ける。
	防火衣装着室	25	<ul style="list-style-type: none"> 回転式防火衣収納ロッカーを設置する。
	乾燥室	7	<ul style="list-style-type: none"> 災害で使用した器材や防火衣を次の災害時に速やかに使用できるように車庫に隣接した場所に設ける。
	救急消毒室	15	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に隣接し、救急車のストレッチャーや資機材を出し入れしやすい位置に設ける。
	資機材庫	25	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に隣接し、車両整備資機材等を収納する。
	空気充填施設	15	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に隣接し、空気ポンベの充填ができる施設を設ける。
	風除室	15	
	ホール・通路	40	
	トイレ	20	<ul style="list-style-type: none"> 男子用、女子用、バリアフリーを設ける。
	相談室	8	<ul style="list-style-type: none"> 来庁者との協議スペースとして設ける。
	エレベーター室	6	
	階段	10	
1階合計		516	
2階	会議室	85	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織等の研修等ができるスペースを設ける。
	会議室倉庫	20	<ul style="list-style-type: none"> 研修室に隣接し、机・椅子を収納する。
	書庫	8	<ul style="list-style-type: none"> 書棚を設ける。
	厨房・食堂	25	<ul style="list-style-type: none"> 一度に7人程度が利用可能な計画とする。 厨房設備一式を設ける。 食器棚、家電用収納棚及び冷蔵庫を設置する。 自動販売機を設置する。
	浴室 脱衣所 洗面所	30	<ul style="list-style-type: none"> [浴室] 一度に2人が利用可能な計画とする。 [脱衣所] 脱衣棚を設ける。 [洗面所] 一度に2人が利用可能な計画とする。 21人分の洗面用具収納棚を設ける。 洗濯機、乾燥機を設置する。
	男性用仮眠室 兼更衣室	63	<ul style="list-style-type: none"> 9㎡×7室=63㎡ ベッド1台、更衣ロッカー3台を一組とし、それぞれ区画して7箇所設ける。
女性用仮眠室	25	<ul style="list-style-type: none"> ベッド1台、更衣ロッカー3台を設ける。 ユニットバス及び洗面化粧台を設ける。 	

兼更衣室（浴室）		
体 力 錬 成 室	20	・ 体力錬成用の各種機器を設置する。
エレベーター室	6	
リネン・消耗品室	7	
ト イ レ	20	・ 男子用2、女子用、バリアフリー
階 段 ・ 廊 下 等	160	
ベ ラ ン ダ	15	
2階合計	484	
合 計	1,000	

(2) 外構等

施設名	面積(㎡)	所 要 機 能
非 常 用 発 電 設 備	10	・ 停電が起きた際に、消防署で使用する電力を確保する。 (屋上に設置)
車 両 回 転 ス ペ ー ス	200	・ 車庫前に10mの回転スペースを確保する。
震 災 救 助 訓 練 施 設	400	・ あらゆる想定での訓練ができる施設を設ける。
火 災 防 ぎ ゃ 訓 練 施 設 (消防水利・放水壁)	750	・ ホース延長から放水まで一連の訓練ができるスペースを確保する。
少 量 危 険 物 庫	6	・ 燃料等を保管する。
駐 車 場	200	・ 職員、来庁者用の駐車場を確保する。
駐 輪 場	15	・ 職員、来庁者用の駐輪場を確保する。
困 障 ・ 植 栽	適宜	・ 緊急車両の出動の視認性に配慮する。